

日本児童青年精神医学会

1. 学会の会員構成等

2, 981名（平成19年1月末日現在）

精神科医： 1, 336名

小児科医： 223名

- | | |
|--------------------------------|---------|
| (1)一般の小児科医・精神科医 | 2, 234人 |
| (2)子どもの心の診療を定期的に行っている小児科医・精神科医 | 1, 782人 |
| (3)子どもの心の診療に専門的に携わる医師 | 123人 |

2. 対象疾患領域等

- ・ ICD-10ではF7～F9に属する疾患（特に広汎性発達障害、注意欠陥／多動性障害、行為障害、反抗挑戦性障害、学習障害等）
- ・ 成人の精神疾患の中で18歳未満、とくに15歳未満で発病したもの（統合失調症、気分障害、解離性障害、強迫障害等）
- ・ 「不登校児童」のさまざまな病態
- ・ 若年性摂食障害
- ・ 児童虐待問題
- ・ その他、境界性人格障害、自己愛性人格障害、回避性人格障害、反社会性人格障害等の思春期版

3. これまでの取り組み

- ・ 日本児童青年精神医学会認定の審査
- ・ 学術総会の教育講演受講者
平成15年度の認定受講者： 345人
平成16年度の認定受講者： 845人
平成17年度の認定受講者： 956人
平成18年度の認定受講者： 1, 100人
- ・ 日本精神神経学会専門医制度への協力
（協力方法：教育講演、症例検討、ランチョンセミナー）等
演題：教育講演
内容：総会の学術集会において
回数：毎年10～15回
それぞれの出席者：延べ800人

4. 平成18年度の取り組み

第47回総会（千葉市）において、教育講演14題、特別講演2題、ランチョンセミナー2題、シンポジウム5題を行った。

5. 今後の取り組み

○今後とも：学術総会において、10～15の教育講演、5～7の症例検討、2～3のランチョンセミナーを開催する予定である。

平成19年 盛岡市 平成20年度 広島市 平成21年度 京都市

○学会認定医 平成20年度までに150名を目標に

- ・平成18年度までに130名
- ・平成19年度までに140名を目標
- ・既に受験資格を持った会員がたくさんいることが予想されるので、働きかけることにしている。それと共に、各地域での地方会等で勉強の機会を増やす。

○日本精神神経学会総会における教育活動、厚生労働省と連携の日本精神科病院協会主催の「思春期精神保健講習会」、その他には学会として協力していく予定である。